

非住宅建築物に係る省エネルギー性能の表示のための評価ガイドライン(H25.10)

背景

- 省エネ性能の高い建築物が市場で評価され、省エネ改修等を促すような環境整備が必要。
- 現状、非住宅建築物については、省エネルギー性能に特化した表示の統一的な指標が無い。
※総合的な指標としては、CASBEEが活用されている。
- 今般、省エネ基準、低炭素建築物認定基準において、建築物全体の省エネルギー性能を評価可能な「**一次エネルギー消費量基準**」を導入(H25.1)。

対応

- 省エネ基準等と整合のとれた設計一次エネルギー消費量計算をベースとして、非住宅建築物の**省エネルギー性能に係る評価・表示の考え方・留意点をまとめたガイドラインを公表**[H25.10国土交通省住宅局]

<ガイドラインのポイント>

- **設計時の省エネルギー性能**(一次エネルギー消費量)をベースに評価
- **既存建築物においても簡便に評価**
 - ・図面が残っていない場合でも、デフォルト仕様を選択することにより評価可能
 - ・旧省エネ基準等で評価された建物も、共通指標に読み替えることにより評価可能
- 専門知識を有しない者にとっても、**分かりやすい表示**
- 規模・用途が異なる建築物の省エネルギー性能が比較評価できる**評価・表示**

評価機関等がこれを参考に、**任意の評価・表示(第三者認証)を行う**ことを想定

建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の概要(案)

[H26.4.25開始予定]

(BELS:Building Energy-efficiency Labeling System)

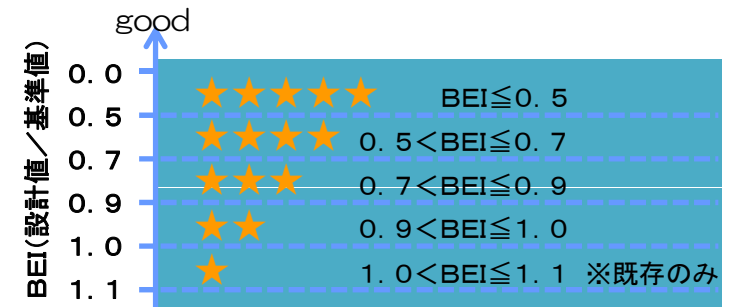
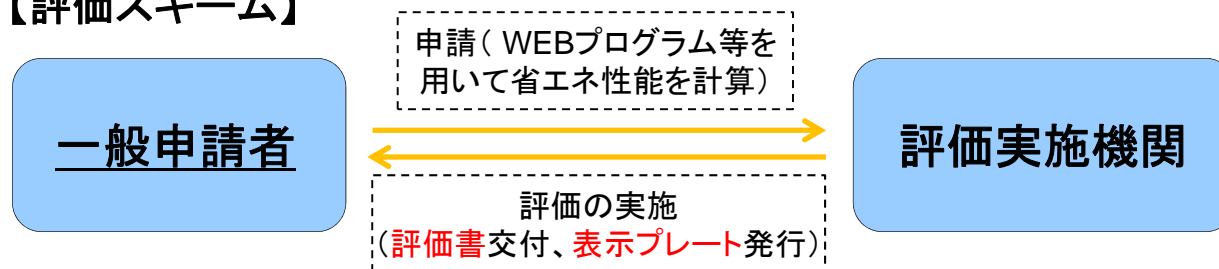
- 非住宅建築物に係る省エネルギー性能の表示のための評価ガイドライン(2013.10国土交通省住宅局)に基づき、(一社)住宅性能評価・表示協会において、省エネルギー性能に特化したラベリング制度を構築。

項目	概要
制度運営主体	一般社団法人 住宅性能評価・表示協会
対象建物	新築及び既存の非住宅建築物
評価対象	建築物全体の設計時の省エネルギー性能 ※評価手法によっては、フロア単位等も可能
評価者	評価実施機関による第三者評価 評価実施者：一級建築士、建築設備士等で 第三者が行う講習を受講し修了した者
評価指標	・一次エネルギー消費量及び BEI (Building Energy Index) = 設計一次エネ / 基準一次エネ



表示プレートのイメージ(案)

【評価スキーム】



BEIと☆との関係